

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

追悼特集

映画監督 今村昌平と黒木和雄

Retrospective in Memory of
Shohei Imamura and Kazuo Kuroki

4月17日(火) - 5月9日(水)

5月17日(木) - 6月10日(日)



追悼特集

映画監督

今村昌平と黒木和雄

4-5月の休館日:

月曜日

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

発券=2階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

●観覧券は当日・当該回にのみ有効です。

●発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。

●学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

●発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



2007

4-5

NFCカレンダー
2007年4-5月号

大ホール 上映作品

追悼特集 映画監督
今村昌平と黒木和雄
Retrospective in Memory of
Shohei Imamura and Kazuo
Kuroki

さる2006年、日本の近現代史とその中に生きる人間を鋭く見つめながら、既成の映画作りの枠を飛び出して映画芸術を革新した二人の映画作家、今村昌平監督と黒木和雄監督が逝き去られました。

1926年、東京に生まれた今村監督は1951年に松竹大船撮影所に入社、その後の日活時代も含め、助監督として名匠・小津安二郎、川島雄三両監督の薫陶を受けました。1958年の『盗まれた欲情』で演出家としてデビューし、その後『豚と軍艦』(1961年)、『につぼん昆虫記』(1963年)、『赤い殺意』(1964年)などの猥雑なエネルギーに満ちた一連の作品により決定的な評価を獲得します。欲望にまみれた人間の暗部を精力的に描き、自ら今村プロダクションを設立してからは記録映画やテレビ作品にも挑戦して、1983年の『楢山節考』ではカンヌ国際映画祭の最高賞パルム・ドールを受賞しました。その後も『黒い雨』(1989年)やパルム・ドールを再度獲得した『うなぎ』(1997年)などを通じて、その名を世界に知らしめるに至りました。

1930年、三重県に生まれた黒木監督は1954年に岩波映画製作所に入社、産業PR映画という制度の中、『あるマラソンランナーの記録』(1964年)などで型破りの表現に挑みました。『とべない沈黙』(1966年公開)によってドキュメンタリーから劇映画へ転身した後も、ノンフィクション出身らしい凝視の視線や体制への批判精神を保ちながら『竜馬暗殺』(1974年)や『祭りの準備』(1975年)といった青春群像劇の秀作を発表、社会から疎外された人間像を鋭く描写しました。さらに、もう一つの代表作となった『TOMORROW 明日』(1988年)からは太平洋戦争下の庶民生活を積極的に取り上げ、それは遺作となった『紙屋悦子の青春』(2006年)にまで引き継がれています。

両監督の演出スタイルは異なるものでしたが、日本映画の最盛期にデビューしつつも従来の映画産業の構造に反旗を翻したこと、劇映画とノンフィクションの双方で活躍したこと、社会の弱者やマイノリティの視点を常に抱いていたこと、そして原爆被害者への鎮魂の思いを込めた作品を持つことなど、共通する点も少なくありません。

この二巨匠が遺した1990年前後までの43作品(今村監督22作品、黒木監督21作品)を31プログラムに組み合わせ、それぞれの偉大な映画芸術の歩みをたどります。

- 監=監督 製=製作 原=原作・原案 脚=脚本・脚色・コメンタリー 撮=撮影 美=美術 衣=衣装 録=録音 音=音楽・選曲 解=解説・ナレーター 出=出演
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 今夏に予定されている上映企画「特集・逝ける映画人を偲んで2004-2006」(7月27日-9月26日)には上記両監督の作品は含まれておりません。

◆今村昌平監督作品

I 4/17(火)3:00pm 5/4(金)祝4:00pm 5/30(水)7:00pm

「 Tent劇場」より 盗まれた欲情

(92分・35mm・白黒)

日活アクションの興隆期に登場した“異色”の監督・今村昌平のデビュー作。劇作に燃えるインテリ青年(長門)が、猥雑な大阪の旅回り一座と行動を共にし、将来や恋愛に悩む「若さとエネルギーに満ちた田園の喜劇」(今村)。本作に対し「マトモな人間も書け」という周囲の声に、今村は「一生ウジ虫ばかり書く」ことを固く決意したという。

'58(日活) 今東光 鈴木敏郎(山内久) 高村倉太郎 中村公彦 黛敏郎 長門裕之、香月美奈子、南田洋子、滝沢修、西村晃、高原駿雄、小笠原章二郎、小沢昭一、柳沢真一、喜多道枝、菅井さん、三好久子、武智豊子、井東柳晴、河上信夫、仲谷昇、峰三平

2 4/17(火)7:00pm 5/5(土)初1:00pm

あほう(13分・16mm・白黒)

人間がいかに滑稽で愛すべき存在かを学生一人一人に自分なりの視点で見出してほしいという今村昌平が、1975年に創立した横浜放送映画専門学校(現日本映画学校)の第1回実習作品。主演の日野利彦はかつて『赤い殺意』の主人公の息子役を演じた。

'75(横浜放送映画専門学校) 我妻正義 田畑哲治 日野利彦、京谷道子、木村隆

凍りついた炎(37分・16mm・カラー)

横浜放送映画専門学校の第3期研究科の実習作品。理髪店を経営する夫婦と姑、姑と懇意の男の間の激しい関係のもつれが描かれる。夫が狂気の沙汰になるラストは衝撃的。

'80(横浜放送映画専門学校) 田村浩太郎、清水信行 幸田守雄 山本龍二、猪俣光世、渡辺とく子、北村和夫

西銀座駅前(52分・35mm・白黒)

『盗まれた欲情』製作のためにやむを得ず撮ったと今村が述懐する本作は、「SP(シスター・ピクチャー)」と呼ばれる1時間弱の中篇。フランク永井の同名の歌を中心に構成されたものだが、西銀座駅前にジャングルを現出させるなど、美術面ではかなり骨の折れる作品だったと美術監督・中村公彦は回想する。

'58(日活) 今村昌平 藤岡泰信 中村公彦 黛敏郎 フランク永井、柳沢真一、堀恭子、西村晃、山岡久乃、初井言栄、小沢昭一、山根恵子、神戸凱介

3 4/18(水)3:00pm 5/5(土)祝4:00pm 5/31(木)7:00pm

果しなき欲望(100分・mm・白黒)

今村作品のおよそ半数を手掛けた撮影監督・姫田が初めて今村と組んだ作品。旧防空壕に隠された時価数千万円のモルヒネを巡って一人の妖艶な女と4人の男たちが狡猾さをむき出しにして穴掘り作業を進める。5人の一攫千金への欲望はその純粋さゆえに痛快でもある。妖女役を務めた渡辺美佐子の演技も見もの。

'59(日活) 藤原審爾 鈴木敏郎(山内久)、今村昌平 姫田真左久 中村公彦 黛敏郎 長門裕之、中原早苗、西村晃、殿山泰司、小沢昭一、加藤武、渡辺美佐子、菅井一郎、高品格、河上信夫、三崎千恵子、柳沢真一、芦田伸介、秋津礼二

4 4/18(水)7:00pm 5/6(日)1:00pm 6/1(金)3:00pm

にあんちゃん(101分・35mm・白黒)

不景気な炭坑町で働き、極貧生活を強いられる在日コリアンたちに目を向けた作品。生活苦を正面から受け止めて乗り越えようとする“にあんちゃん”(二番目の兄)の精神的な逞しさは、この後の今村作品のキャラクターに通ずる力強さを感じさせる。俯瞰ショットが捉える長崎の島の炭坑は壯観である。

'59(日活) 安本末子 池田一郎、今村昌平 姫田真左久 中村公彦 黛敏郎 長門裕之、吉行和子、二谷英明、沖村武、前田暁子、松尾嘉代、北林谷栄、芦田伸介、西村晃、小沢昭一、殿山泰司、山内明、大森義夫、高木均、賀原夏子、山岡久乃、穂積隆信、浜村純、垂水信郎、松本栄升、福原秀雄、加原武門、牧よし子、辻万万里、高原駿雄

5 4/19(木)3:00pm 5/6(日)4:00pm 6/5(火)7:00pm

豚と軍艦(108分・35mm・白黒)

米軍基地のある横須賀の街を舞台に、将来の幸せを夢見ながらヤクザな商売を続けるチンピラ男(長門)と男の更生を願う女(吉村)の恋の行方を描きつつ、敗戦国日本のみじめさを浮き彫りにした作品だが、ラストにはほのかな希望が込められる。「どぶ板通り」はロケでなく、撮影所内に作られたセット。

'61(日活) 山内久 姫田真左久 中村公彦 黛敏郎 長門裕之、吉村実子、南田洋子、大坂志郎、中原早苗、小沢昭一、三島雅夫、東野英治郎、山内明、西村晃、殿山泰司、加藤武、丹波哲郎、菅井さん、武智豊子、初井言栄、佐藤英夫、城所英夫、高原駿雄

6 4/19(木)7:00pm 5/8(火)3:00pm 6/2(土)1:00pm

につぼん昆虫記(123分・35mm・白黒)

戦中、戦後の激動の時代、我が娘(吉村)との穏やかな暮らしをひたすら夢見て、女であることを武器に必死で生きる女を左幸子が熱演する。今村が「何とか違う(映画づくりの)方法を探ろうとした」本作には、ストップ・モーションの多用や、段落の合間に挿入される主人公の詩の吟詠など様々な工夫が見られる。

'63(日活) 長谷部慶次 姫田真左久 中村公彦 黛敏郎 左幸子、吉村実子、長門裕之、北村和夫、河津清三郎、小池朝雄、北林谷栄、岸輝子、春川ますみ、佐々木すみ江、相沢ケイ子、殿山泰司、桑山正一、露口茂、東恵美子

7 4/20(金)3:00pm 5/8(火)7:00pm 6/3(日)0:30pm

赤い殺意(150分・35mm・白黒)

家庭内では弱者でしかなかった主婦が、強盗に強姦されて以来、逆に強者へと変貌してゆく。もとより女の強さに注目してきた今村にとって、それまでと異なる女の強さを提示した本作は特にお気に入りの一作だという。室内も含めてのオールロケ、元日劇ミュージックホールのヌード・ダンサーであった春川の起用などには、今村のこだわりが感じられる。

'64(日活) 藤原審爾 長谷部慶次、今村昌平 姫田真左久 中村公彦 黛敏郎 春川ますみ、西村晃、露口茂、楠侑子、赤木蘭(蘭)子、北林谷栄、北村和夫、小沢昭一、宮口精二、加藤嘉、近藤宏、北原文枝、殿山泰司、加原武門、糸賀靖雄、山之辺潤一、久松洪介、井東柳晴



にあんちゃん

8 4/20(金)7:00pm 5/9(水)3:00pm 6/2(土)4:00pm

「エロ事師たち」より 人類学入門

(128分・35mm・白黒)

ポルノ写真やフィルムの製作販売や売春婦の斡旋をする主人公(小沢)は、下宿先の子連れ女主人(坂本)と恋仲になるが、その娘とも関係を持つにいたり、息子からは金を搾り取られる。本作は記念すべき今村プロ第1作。日活との共同製作で、当初は脚本だけ執筆する予定であったが、最終的には今村自身が撮ることとなった。

'66(今村プロ=日活)◎野坂昭如◎今村昌平、沼田幸二◎姫田真左久◎高田一郎◎黛敏郎◎小沢昭一、坂本スミ子、中村雁治郎、ミヤコ蝶々、田中春男、佐川啓子、近藤正臣、西村見、菅井一郎、中野伸逸、北村和夫、殿山泰司、浜村純、菅井きん、木下サヨ子、園佳也子、福山博寿、小倉徳七、西岡慶子、玉村駿太郎

9 4/21(土)1:00pm 5/9(水)7:00pm 6/5(火)3:00pm

人間蒸発

(129分・35mm・白黒)

失踪した婚約者の行方を追って、相手の女性とともに今村が至るところを訪れ取材するという設定。捜査が進むにつれて失踪者の隠された事実が明るみになり、女は精神的に激しく混乱する。今村たちのねばり強い探究精神は作品の迫力を支え、後の今村のテレビ用ドキュメンタリーでも生かされている。

'67(今村プロ=日本アートシアターギルド=日本映画新社)◎石黒健治◎黛敏郎◎露口茂、早川佳江

10 4/21(土)4:00pm 5/17(水)3:00pm 6/1(金)6:30pm

神々の深き欲望

(174分・35mm・カラー)

南方の島「クラゲ島」での、ノロ(巫女)を中心とする信仰や旧習と、押し寄せる近代の波との葛藤がテーマ。村人の無邪気な様子が生き生きと描かれるだけに、前近代の礼賛ともとれるが、その残酷さを冷徹に見据えてもいる。石垣島での2年越しの撮影は作品に完成度の高さをもたらしたが、今村プロには莫大な負債をもたらした。

'68(今村プロ)◎今村昌平、長谷部慶次◎柘沢正夫◎大村武◎黛敏郎◎三國連太郎、河原崎長一郎、北村和夫、沖山秀子、松井康子、加藤嘉、小松方正、細川ちか子、扇千景、浜村純、殿山泰司、水島晋、石津康彦、徳川清、長谷川和彦、原泉、中村たつ、嵐寛寿郎

11 4/22(日)1:00pm 5/17(水)7:00pm

にっぽん戦後史 マダムおんぼろの生活

(105分・35mm・白黒)

『人間蒸発』以来ドキュメンタリーへの興味を強めた今村が、ニュース映画の会社である日本映画新社の依頼を受けて撮ったテレビ向けドキュメンタリー。横須賀の外人向けバー「おんぼろ」を経営するマダムがさらりと語る虐げられた過去の話に、日本の戦後史を象徴するニュース映像が挿入される。

'70(日本映画新社)◎今村昌平◎柘沢正夫◎赤座たみ、赤座悦子、赤座あけみ、赤座昌子、赤座千枝子

12 4/22(日)4:00pm 5/18(金)3:00pm

未帰還兵を追って マレー篇

(47分・16mm・カラー)

「未帰還兵はいない」との公式見解にも構わず、マレーにいるはずの未帰還兵を探して今村本人が至る所へ赴く。中国人コミュニティを中心に情報収集した末、奥地に住む日本人を探し出す。意思疎通の困難さに打ちのめされながら根気強く捜索する姿が胸を打つ。

'71(今村プロ)◎姫田真左久、榎本裕之◎紅谷恒一◎矢野シゲル、佐々木賢一、渡辺正明、山村ツルエ

未帰還兵を追って タイ篇

(49分・16mm・カラー)

タイにいる3人の未帰還兵に日本や戦争について、今村が尋ねる。故郷も元の職業も、そしてタイでの暮らしも異なる3人は、文字通り三者三様の考え方で、未帰還兵を生み出した日本や戦争を見つめている。

'71(今村プロ)◎姫田真左久、榎本裕之◎今村昌平◎藤田松吉、仲山波男、利田銀太郎、広瀬信次

13 4/24(火)3:00pm 5/20(日)4:00pm

からゆきさん(75分・16mm・カラー)

東南アジアへと連れ去られ、売春を余儀なくされた女性たち「からゆきさん」に焦点を当て、いち早く海外に進出して、戦争への協力を強いられ、国に奉仕しながらも、最後には疎まれるに至った彼女らの存在を今村が探究する。本作は「棄民」シリーズの第1作で、後に『無法松故郷に帰る』、『続・未帰還兵を追って』(1975年)の2作が続く。

'73(今村プロ)◎柘沢正夫◎紅谷恒一◎今村昌平◎善道菊代、福田庫八、長尾正平、西村広子、平野トラ、田浦八重、山脇タマ、山口マツ

無法松故郷に帰る(47分・16mm・カラー)

『未帰還兵を追って タイ篇』で出演した未帰還兵の中で気骨のあった人物が日本に一時帰国する姿をカメラが追う。なぜ自分が死人扱いされたのかを探りながら、肉親や元陸軍曹たちの許を訪れる男の背中を追ううちに、今村は「棄民」という存在について思考を深めてゆく。

'73(今村プロ)◎高橋松男◎武重邦夫◎柘沢正夫◎今村昌平◎藤田松吉、藤田フジ子、藤田藤男、森田一、浜口道子、浮家由雄、高平三郎、崎田末喜

14 4/24(火)7:00pm 5/19(土)1:00pm 5/30(水)3:00pm

復讐するは我にあり(140分・35mm・カラー)

日本各地で詐欺や殺人で罪を重ねた男(緒形)の実話に基づいたサスペンス調の劇映画。緒形拳の人を殺める演技には鬼気迫るものがあり、三国、倍賞、清川虹子をはじめ主役以外を演じる俳優陣も充実している。今村は映画のもとになった犯行について、調べれば調べるほど不可解さを感じ、その犯人像を掴むのに苦労したという。

'79(松竹=今村プロ)◎佐藤隆三◎馬場当◎姫田真左久◎佐谷晃能◎池辺晋一郎◎緒形拳、三国連太郎、ミヤコ蝶々、倍賞美津子、小川真由美、清川虹子、殿山泰司、垂水悟郎、絵沢萌子、白川和子、浜田寅彦、フランキー堺、北村和夫、火野正平、梅津栄

15 4/25(水)3:00pm 5/19(土)4:00pm

ええじゃないか(151分・35mm・カラー)

外来文化の流入により時代の転機を迎えつつあった江戸時代が舞台。米国帰りの男(泉谷)は妻(桃井)と生活の再建をめざすが一向にうまくいかず、見せ物小屋で暮らすことになる。自然発生的な「ええじゃないか」騒動を「世直し」と称して大々的に展開するが…。反骨精神を支える何でも「ええじゃないか」の庶民的エネルギーが本作の核となっている。

'81(松竹=今村プロ)◎今村昌平◎宮本研◎姫田真左久◎佐谷晃能◎池辺晋一郎◎桃井かおり、泉谷しげる、緒形拳、露口茂、草刈正雄、樋浦勉、丹古鬼馬二、火野正平、野口雅弘、倍賞美津子、田中裕子、かわいのどか、犬塚弘、河野洋平、寺田農、倉田保昭、小沢昭一、河原崎長一郎、小林稔侍、殿山泰司



人間蒸発



神々の深き欲望

16 4/25(水)7:00pm 5/20(日)1:00pm 5/31(木)3:00pm

楢山節考(130分・35mm・カラー)

老人を山に捨てる「姥捨て」伝説に基づく同名小説が原作。生に満ちた山村で、姥捨ての時期を悟る老婆と、戸惑いつつも老婆との別れを受け入れてゆく家族たちの姿を通して生の切なさが語られる。生き物が生き物を食べたり、生殖したりするシーンを挿入することで、木下恵介の『楢山節考』(1958年)とは異なるリアリズムを加味しようと試みた、と今村は語る。

'83(東映=今村プロ)◎深沢七郎◎今村昌平◎柘沢正夫◎稲垣尚夫◎池辺晋一郎◎緒形拳、坂本スミ子、左とん平、あき竹城、小沢昭一、常田富士男、深水三章、倉崎青児、高田順子、倍賞美津子、殿山泰司、樋浦勉、ケーシー高峰、小林稔侍、清川虹子、横山あきお、三木のり平、辰巳柳太郎

17 4/26(木)3:00pm 5/18(金)7:00pm 6/9(土)1:00pm

女術 ZEGEN(124分・35mm・カラー)

明治時代、故郷を捨てて海を渡った男(緒形)は香港で囚われの身の日本人女性たちを助けたのを機に、女術となるが、時代の変化と愛する女(倍賞)の心変わりにより全てを失う。エネルギーに満ちた女たちとそのエネルギーを貪らんとする男の卑猥さには圧倒せんばかりの迫力がある。

'87(東映=今村プロ)◎今村昌平、岡部耕大◎柘沢正夫◎横尾嘉良◎池辺晋一郎◎緒形拳、倍賞美津子、柯俊雄、三木のり平、小西博之、深水三章、杉本哲太、殿山泰司、レオナルド熊、常田富士男、寺田農、河原崎長一郎、熊谷真実、池波志乃、風間舞子、神田紅、古館ゆき、趙方豪、石井光三、細川智、児玉玄、野口雅弘、A・JALAK

18 4/26(木)7:00pm 5/22(火)3:00pm 6/10(日)4:00pm

黒い雨(123分・35mm・白黒)

被爆症や戦争の後遺症に苦しむ人々を見つめながら、戦争への怒りを静かに力強く表現しつつ、生きる切なさを暖かく描き出した傑作。井伏鱒二は他監督による原作の映画化はことごとく断ってきたが、今村は婉曲的な許諾を得、映画化を実現した。監督=撮影で初めてコンビを組んだ今村と川又だが、二人には松竹大船での助監督・撮影助手時代以来の長いつきあいがあった。

'89(今村プロ=林原グループ)◎井伏鱒二◎石堂淑朗、今村昌平◎川又昂◎稲垣尚夫◎武満徹◎田中好子、北村和夫、市原悦子、原ひさ子、石田圭祐、沢たまき、小林昭二、山田昌、小沢昭一、三木のり平、石丸謙二郎、立石麻由美、楠トシエ、七尾伶子、飯沼慧、三木敏彦、藤井洋八、河原さぶ、深水三章、三谷昇、大滝秀治



楢山節考



女術 ZEGEN

◆黒木和雄監督作品

19 4/27(金)3:00pm 5/26(土)4:00pm

東芝の電気車輛(22分・35mm・カラー)

岩波映画製作所で産業映画の大作『佐久間ダム』(1954-57年)などの助監督を務めるとともに、「編集の神様」伊勢長之助のもとで編集技術を身につけた黒木和雄のデビュー作。この段階からすでに編集を専門家に任せず、自ら行う姿勢を貫いている。

'58(岩波映画製作所)◎高村武次◎藤瀬季彦◎金谷常三郎

海壁(59分・35mm・カラー)

東京電力横須賀火力発電所の建設記録。ベテラン桑野茂の推薦で起用された黒木は、水中撮影や空撮、線画までを大胆に使用して用地の埋め立て工程を解説した。M・デュラスの小説「太平洋の防波堤」から題を借用したり、コメンタリーを詩人・飯島耕一に書かせるなどの「アート志向」が早くも現われている。

'59(岩波映画製作所)◎黒木和雄◎小口禎三◎桑野茂◎加藤和三◎館昭◎西大由◎桜井善一郎◎池野成◎小杉太郎◎松村禎三◎三木稔◎原田南◎桑山正一

ルポルタージュ 炎(37分・35mm・カラー)

「水」を主題とした『海壁』の続篇となる本作では、「火」をテーマによいよ発電所の建設作業が記録される。「自分の呼吸、息づかいに忠実であろうとした」という黒木の熱情は、松村禎三の前衛的な音楽や舞踊シーンの導入などによって、本作をアンダーグラウンド映画の趣き感じさせる一篇にした。

'60(岩波映画製作所)◎黒木和雄◎小口禎三◎小村静夫◎久保田幸雄◎松村禎三◎長門裕之

20 4/27(金)7:00pm 5/27(日)4:00pm

恋の羊が海いっぱい(20分・35mm・カラー)

羊毛の宣伝用に書かれた羽田澄子の脚本を黒木がミュージカル風に改変した、日本のPR映画史の中でも特筆すべき異色作。早口のお針子たちのシーンは市川崑の映画を参考にしたもので、若き寺山修司の書いたラストシーンの歌の歌詞もPR映画という制度自体を挑発的に問うている。

'61(岩波映画製作所)◎小口禎三◎坊野貞男◎黒木和雄◎羽田澄子◎清水一彦◎長谷川良雄◎小野崎孝輔◎浅倉根◎森英恵◎大平透◎ベギー葉山◎岡乃桃子◎及川久美子◎久里千春

わが愛北海道(49分・16mm・カラー)

北海道の風土と基幹産業を紹介するPR作品だが、アラン・レネの『二十四時間の情事』(1959年)に刺激されていた黒木は、一組の男女に旅をさせるという構成にしてそのドラマ志向を実現させた。映画のトップに“ニシン御殿”での全裸のラブシーンを撮影したが、会社によって即座にカットされたという。

'62(岩波映画製作所)◎小口禎三◎坊野貞男◎黒木和雄◎清水邦夫◎清水一彦◎渡辺重治◎久保田幸雄◎松村禎三◎木村功◎及川久美子◎関口正幸

日本発見シリーズ 群馬県(30分・16mm・白黒)

黒木の初めてのテレビ作品で、全国の都道府県を紹介する「日本発見」シリーズ(通称「地理テレビ」)の一作。「青の会」の同志であるカメラマン鈴木達夫との初仕事でもあり、移動撮影を駆使したのびやかな作品だが、会社の判断でオクラ入りになった。

'62(岩波映画製作所)◎高村武次◎吉原順平◎鈴木達夫◎久保田幸雄◎鈴木和彦

21 4/28(土)1:00pm 5/22(火)7:00pm

日本10ドル旅行

(21分・16mm・カラー・英語版)
10 DOLLAR TRIP IN JAPAN

のちに美術映画の名作を送り出す映画作家・松川八洲雄の提案で、黒木が演出にあたったトヨタ自動車のPR映画。アメリカ人少女が横浜から神戸までを旅する一種のロードムービーで、自動車の行進や「サムライ」も登場する明朗でカラフルな作品である。

'62(日本産業映画センター)◎田代博茂◎松川八洲雄◎江連高元◎山本直純

太陽の糸

(29分・35mm・カラー)

カメラマン加藤和三の招きで黒木は科学映画の牙城・東京シネマの仕事を得るようになった。合成繊維のPR映画である本作では世界を股にかけたロケーションを敢行、繊維の製造工程と世界への進出を迫ってファッション・ショーも撮影した。黒木自らも「スポンサーと会社の要請にこたえた」と述懐している。

'63(東京シネマ)◎岡田桑三◎吉見泰◎加藤和三◎片山幹男◎一柳慧◎日下武史

あるマラソンランナーの記録

(63分・35mm・カラー)

PR映画を作り続けることに限界を感じていた黒木が、その制度に挑む最後の闘いになった一本。東京オリンピックを目前にした長距離走者・君原健二のひたむきな練習生活を追ったが、黒木若手スタッフと東京シネマ首脳陣との対立が極限に達した結果、ついに黒木はPR映画界から飛び出すことになる。

'64(東京シネマ)◎岡田桑三◎江連高元◎加藤和三◎池野成◎城達也

22 4/28(土)4:00pm 5/23(水)3:00pm 6/8(金)7:00pm

椅子を探す男

(11分・16mm・カラー)

ギター弾きの男が座っていた椅子がなぜか消滅してしまい、男はその椅子を求めて街や海辺を探し回る。コマ落としなども用いた遊び心のある短篇で、ボランスキーの『ダンスと二人の男』(1958年)なども想起させる。黒木監督が所蔵していたプリントを特別に上映。

'68(科学映画製作所)◎並木菊雄◎黒木和雄◎保田宗晴◎大津幸四郎◎平田逸郎◎加藤和三◎松岡きこ◎植田峻

とべない沈黙

(100分・35mm・白黒)

黒木の初の劇映画は、昆虫好きの少年だった松川八洲雄の原案から、北海道にいないはずの蝶を追いかける少年をめぐる型破りなロードムービーとなった。川喜多かしこの計らいでフランスでも上映され、当時のシネマテークの館長アンリ・ラングロワも絶賛したという。スタッフの大半は記録映画の経験しかなかったが、本作で鮮烈な画面を生み出した鈴木達夫は、以降新世代の監督たちに支持されてゆく。

'66(日本映画新社=東宝)◎松川八洲雄◎若佐壽彌◎黒木和雄◎鈴木達夫◎山下宏◎松村禎三◎加賀まりこ◎平中実◎小沢昭一◎戸浦六宏◎山茶花院◎木村俊恵◎長門裕之◎蜷川幸雄◎五月美沙◎益富信隆◎笠井一彦◎成瀬昌彦◎小松方正◎渡辺文雄◎田中邦衛

23 4/29(日)1:00pm 5/23(火)7:00pm 6/7(木)3:00pm

キューバの恋人(98分・35mm・白黒)

キューバに寄港した日本の軟派な漁船員と、ゲリラに志願した現地の女性兵士とのすれ違う感情を描いたラブ・ストーリー。『とべない沈黙』がキューバで好評だったことから、両国初の合作には黒木が指名され、土本典昭の苦難のプロデュースの末に完成した。革命から10年を迎えたキューバの記録として、黒木の優れたドキュメンタリー性も発揮された。

'69(黒木プロ=ICAIC)◎黒木和雄◎阿部博久◎加藤一郎◎鈴木達夫◎松村禎三◎津川雅彦◎ジュリー・ブラセシニア◎グロリア・リー◎アルマンド・ウルバッチ◎フランシスコ・カステイセーノ◎ニコラス・ギリエン◎ジャン・クロド◎フィデル・カストロ◎首相

24 4/29(日)4:00pm 5/24(木)3:00pm 6/6(水)7:00pm

日本の悪霊(90分・35mm・白黒)

新左翼学生を含む幅広い若者の支持を得ていた高橋和巳の原作をもとに、学生運動の過去を持つやくざと生真面目な警部補の入れ替わり劇を佐藤慶が一人二役で演じた作品。黒木はコミカルな会話や仁侠映画的な表現を加えて高橋の重々しい文体を意図的に脱色した。暗黒舞踏の土方巽や「フォークの神様」岡林信康の唐突な登場にも驚かされる。

'70(中島正幸プロ=日本アートシスターギルド)◎高橋和巳◎福田善之◎堀田泰寛◎平田逸郎◎岡林信康◎早川義夫◎佐藤慶◎高橋辰夫◎観世栄夫◎榎本陽介◎高森皓祐◎深尾誼◎鈴木両全◎土井通肇◎倉沢周平◎坂本長利◎関口瑛◎林昭夫◎渡辺文雄◎丸茂光紀◎成瀬昌彦◎土方巽◎殿山泰司

25 5/1(火)3:00pm 5/24(木)7:00pm 6/10(日)1:00pm

竜馬暗殺(119分・35mm・白黒)

坂本龍馬の暗殺を、幕府が手を下したとする通説に従わず、討幕派内の“内ゲバ”であるという仮説のもとに描いた黒木初の時代劇。日活ニュー・アクションの原田芳雄、ロマンポルノの人気女優・中川梨絵など、新世代の俳優たちが黒木のアーキーな演出プランを見事に汲み取ったほか、16mmの手持ちカメラを基調とした田村正毅の黒々としたモノクロ画面も注目に値する。

'74(映画同人社=日本アートシスターギルド)◎清水邦夫◎田辺泰志◎田村正毅◎山下宏◎松村禎三◎原田芳雄◎石橋蓮司◎中川梨絵◎松田優作◎桃井かおり◎田村亮◎山谷初男◎田中筆子◎川村真樹◎田中春男◎天坊準◎野呂圭介◎栗津號◎秋元健◎石井廬一◎外波山文明◎伴勇太郎

26 5/1(火)7:00pm 5/25(金)3:00pm 6/9(土)4:00pm

祭りの準備(117分・35mm・カラー)

昭和30年代の高知県中村を舞台に、猥雑な隣人たちに囲まれて暮らす青年が、すべてのしがみつきを断ち切って上京するまでを描く。中島丈博の自伝的なシナリオに、青春映画に秀でた藤田敏八監督も関心を持ったため、どちらが映画化するかで会合も持たれたという。ラストの万歳三喝のシーンも忘れがたい、1970年代青春映画の名作である。

'75(綜映社=映画同人社=日本アートシスターギルド)◎中島丈博◎鈴木達夫◎木村威夫◎丸山裕◎松村禎三◎江藤潤◎竹下景子◎桂木梨江◎杉本美樹◎馬淵晴子◎浜村純◎犬塚弘◎三戸部スエ◎原知佐子◎絵沢萌子◎真山知子◎石山雄大◎湯沢昶◎阿藤海◎斎藤真◎瀬畑佳代子◎夏海千佳子◎森本レオ◎芹明香



あるマラソンランナーの記録



祭りの準備

27 5/2(水)3:00pm 5/25(金)7:00pm 6/3(日)4:00pm

原子力戦争(106分・35mm・カラー)

岩波映画時代の仲間だった田原総一郎のルポルタージュに刺激された黒木が、原子力発電所の事故隠蔽の体質を告発した作品。原田芳雄を主人公にしたやくざ映画の体裁をとっているが、演出にあたって黒木の念頭にあったのはカフカの「城」だったという。ただ、その発想を優先したため、かえって原発への理解が不十分になったと監督は後に述べている。

'78(文化企画プロモーション=日本アートシアターギルド)◎田原総一郎◎鴨井達比古◎根岸栄◎丸山裕司◎松村禎三◎原田芳雄、山口小夜子、風吹ジュン、石山雄大、浜村純、佐藤慶、和田周、草薙幸二郎、西山嘉孝、戸浦六宏、鮎川賢、早野寿郎、能登智子、糸賀清雄、岡田英次

28 5/2(水)7:00pm 5/26(土)1:00pm 6/7(木)7:00pm

夕暮まで(110分・35mm・カラー)

「夕暮れ族」の流行語を生んだ吉行淳之介のベストセラー小説をもとに、小説家の中年男と若い女の、性交渉を伴わない奇妙な不倫関係と内面の駆け引きをけだるく描いた娯楽作。終始自信が持てぬままシナリオ執筆と演出に臨んだ黒木だが、日活の名編集技師・鈴木暁の卓抜な仕事ぶりに勇気づけられながら完成させたという。

'80(アートセンター)◎吉行淳之介◎浜地一郎(加藤一郎)、田辺泰志◎鈴木達夫◎山下宏、内田欣哉◎荒木一郎◎桃井かおり、伊丹十三、加賀まりこ、山口美也子、馬淵晴子、風間杜夫、大橋芳枝、柿崎澄子、今村薫、中丸信、福原秀雄、江藤潤、殿山泰司、戸川暁子、原田芳雄

29 5/3(木)1:00pm 5/27(日)1:00pm 6/8(金)3:00pm

泪橋(118分・35mm・カラー)

東京・大森の近くの川にかかる泪橋。その界隈に暮らす人々の悲哀を淡々と綴った村松友視の中篇小説を、志願した村松本人と状況劇場の唐十郎がシナリオ化。当時話題になった「イエスの方舟」事件も織り交ぜられて幻想色の濃い作品となった。社会からの疎外感を背負った元全共闘学生のスールスマンという役柄を渡瀬恒彦が好演している。

'83(人間プロ)◎村松友視◎唐十郎◎大津幸四郎◎木村威夫◎松村禎三◎渡瀬恒彦、佳村朋、藤真利子、原日出子、殿山泰司、不破万作、長門裕之、宮下順子、風間杜夫、原田芳雄



夕暮まで



泪橋

30 5/3(木)4:00pm 5/29(火)7:00pm 6/6(水)3:00pm

ぼくのいる街(23分・16mm・カラー)

黒木自身も会員だった「平和博物館を創る会」に指名されて監督した短篇で、1945年1月の東京初空襲の際に亡くなったという東京・銀座の小学生が現代に甦る。高間賢治のカメラは少年が銀座をさまよう姿をその目線の高さで追っている。

'89(平和博物館を創る会)◎高間賢治◎加藤一郎◎田中清久◎荻野目洋子

TOMORROW 明日

(105分・35mm・カラー)

原爆投下までの最後の一日を送っている長崎爆心地付近の庶民を描いた黒木後期の代表作。結婚式、出産、召集令状の到着といった人それぞれの出来事を描くあたり、黒木らは井上光晴の原作にあった時間の流れを解体し、スケッチ風の演出を時系列的に重ね合わせた。その形式について黒木は「純粋なフォルムをいかに貫徹させるか」とのちに記している。

'88(ライヴビジョン=沢井プロ=創映新社)◎井上光晴◎黒木和雄、井上正子、竹内統一郎◎鈴木達夫◎内藤昭◎松村禎三◎桃井かおり、南果歩、仙道敦子、黒田アサ子、佐野史郎、岡野進一郎、長門裕之、殿山泰司、草野大悟、絵沢順子、水島かおり、森永ひとみ、伊佐山ひろ子、なべおさみ、入江若葉、横山道代、荒木道子、賀原夏子、楠トシエ、三木てるみ、馬淵晴子、原田芳雄、田中邦衛

31 5/4(金)1:00pm 5/29(火)3:00pm

浪人街(117分・35mm・カラー)

幻の傑作と言われる1928年の『浪人街・第一話 美しき獲物』を監督したマキノ雅広(正博)監督の支持を得て、黒木がリメイクにあたった時代劇の娯楽作。マキノ的なシャープな演出とは異なるが、長年の望みだった笠原和夫に脚本を依頼、居酒屋を舞台にした「グランド・ホテル」形式の重厚な作品が完成した。ラストの立ち回りでは巨匠カメラマン・宮川一夫がBカメラを回している。

'90(山田洋行ライヴビジョン=松竹)◎山上伊太郎◎笠原和夫◎高岩仁◎内藤昭◎松村禎三◎原田芳雄、樋口可南子、石橋蓮司、杉田かおる、伊佐山ひろ子、絵沢順子、賀川雪絵、中村たつ、紅萬子、藤崎卓也、天本英世、水島道太郎、中尾彬、佐藤慶、長門裕之、田中邦衛、勝新太郎



TOMORROW 明日



浪人街

■トーク・イベント

▶ 4月26日(木)7:00pm

『黒い雨』上映終了後

ゲスト:稲垣尚夫氏(映画美術監督)

▶ 5月29日(火)7:00pm

『TOMORROW 明日』他上映終了後

ゲスト:日向寺太郎氏(映画監督)

*トークのみの入場はできません。

展示室(7階)

【企画展】

スチル写真でみる日本の映画女優

Japanese Film Actress

— from the NFC still photo collection —

フィルムセンターが所蔵するスチル写真、ブロマイドなどで見る日本の映画女優。3期にわたっての開催となります。

【常設展】

展覧会 映画遺産

— 東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより —

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい初期の映画機械や映画人の遺品などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

第1期:4月24日(火)~6月17日(日)

開室=休館日以外の火曜日~日曜日

(午前11時~午後6時30分/入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/

大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円)/

中学生以下・障害者(付添者は原則1名までは無料)

無料観覧日=4月29日 昭和の日

5月18日 国際博物館の日

*料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料も含みます。

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示下さい。

* フィルムセンターの企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

図書室カレンダー

赤字は休室日

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

図書室(4階) 開室=休館日以外の火曜日~土曜日

(午後0時30分~午後6時30分/入室は午後6時まで)

追悼特集 映画監督 今村昌平と黒木和雄
Retrospective in Memory of Shohei Imamura and Kazuo Kuroki

月	火	水	木	金	土	日		
4月	1 盗まれた欲情 (92分) 3:00pm	3 果しなき欲望 (100分) 3:00pm	5 豚と軍艦 (108分) 3:00pm	7 赤い殺意 (150分) 3:00pm	9 人間蒸発 (129分) 1:00pm	11 につぼん戦後史 マダムおんぼろの生活 (105分) 1:00pm		
	2 西銀座駅前 他 (計102分) 7:00pm	4 にあんちゃん (101分) 7:00pm	6 につぼん昆虫記 (123分) 7:00pm	8 人類学入門 (128分) 7:00pm	10 神々の深き欲望 (174分) 4:00pm	12 未帰還兵を追って マレー 篇 他 (計96分) 4:00pm		
	13 からゆきさん 他 (計122分) 3:00pm	15 ええじゃないか (151分) 3:00pm	17 女衞 ZEGEN (124分) 3:00pm	19 海壁 他 (計118分) 3:00pm	21 あるマラソンランナーの記録 他 (計113分) 1:00pm	23 キューバの恋人 (98分) 1:00pm		
	14 復讐するは我にあり (140分) 7:00pm	16 楢山節考 (130分) 7:00pm	18 黒い雨 *稲垣尚夫氏によるトークがあります (123分) 7:00pm	20 わが愛北海道 他 (計99分) 7:00pm	22 とべない沈黙 他 (計111分) 4:00pm	24 日本の悪霊 (90分) 4:00pm		
	25 竜馬暗殺 (119分) 3:00pm	27 原子力戦争 (106分) 3:00pm	29 泪橋 (118分) 1:00pm	31 浪人街 (117分) 1:00pm	2 西銀座駅前 他 (計102分) 1:00pm	4 にあんちゃん (101分) 1:00pm		
	26 祭りの準備 (117分) 7:00pm	28 夕暮まで (110分) 7:00pm	30 TOMORROW 明日 他 (計128分) 4:00pm	1 盗まれた欲情 (92分) 4:00pm	3 果しなき欲望 (100分) 4:00pm	5 豚と軍艦 (108分) 4:00pm		
	6 につぼん昆虫記 (123分) 3:00pm	8 人類学入門 (128分) 3:00pm	EUフィルムデーズ2007				13	
	7 赤い殺意 (150分) 7:00pm	9 人間蒸発 (129分) 7:00pm	EUフィルムデーズ2007				13	
	15		16		17		20	
	18 黒い雨 (123分) 3:00pm	22 とべない沈黙 他 (計111分) 3:00pm	24 日本の悪霊 (90分) 3:00pm	26 祭りの準備 (117分) 3:00pm	28 夕暮まで (110分) 1:00pm	29 泪橋 (118分) 1:00pm	16 楢山節考 (130分) 1:00pm	
	21 あるマラソンランナーの記録 他 (計113分) 7:00pm	23 キューバの恋人 (98分) 7:00pm	25 竜馬暗殺 (119分) 7:00pm	27 原子力戦争 (106分) 7:00pm	19 海壁 他 (計118分) 4:00pm	20 わが愛北海道 他 (計99分) 4:00pm	13 からゆきさん 他 (計122分) 4:00pm	
	31 浪人街 (117分) 3:00pm	14 復讐するは我にあり (140分) 3:00pm	16 楢山節考 (130分) 3:00pm	4 にあんちゃん (101分) 3:00pm	6 につぼん昆虫記 (123分) 1:00pm	7 赤い殺意 (150分) 0:30pm	3	
30 TOMORROW 明日 他 (計128分) *日向寺太郎氏によるトークがあります 7:00pm	1 盗まれた欲情 (92分) 7:00pm	3 果しなき欲望 (100分) 7:00pm	10 神々の深き欲望 (174分) 6:30pm	8 人類学入門 (128分) 4:00pm	27 原子力戦争 (106分) 4:00pm	3		
9 人間蒸発 (129分) 3:00pm	30 TOMORROW 明日 他 (計128分) 3:00pm	23 キューバの恋人 (98分) 3:00pm	29 泪橋 (118分) 3:00pm	17 女衞 ZEGEN (124分) 1:00pm	25 竜馬暗殺 (119分) 1:00pm	25		
5 豚と軍艦 (108分) 7:00pm	24 日本の悪霊 (90分) 7:00pm	28 夕暮まで (110分) 7:00pm	22 とべない沈黙 他 (計111分) 7:00pm	26 祭りの準備 (117分) 4:00pm	18 黒い雨 (123分) 4:00pm	10		

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

大ホール(2階)・小ホール(地下1階)

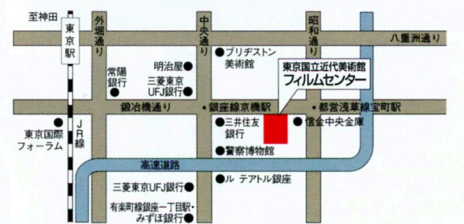
EUフィルムデーズ2007
EU Film Days 2007

- 5月10日(金)～5月27日(日)
定員=大ホール 310名、小ホール 151名(各回入替制)
発券=2階受付・地下1階受付
料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)は無料
- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
 - 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
 - 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
 - 発券は各回1名につき1枚のみです。
 - 詳細は当該チラシをご覧ください。

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
▼交通:
東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>